

令和7年度 東京すくわくプログラム活動報告

スマイルキッズ駒繋保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「見る、触れる、描く、聴く」

<テーマの設定理由>

身近な自然事象(天候事象、草花、昆虫、果実などの動植物)を映像化した

画面に触れ、音を感じながら、自ら描くことで変化・展開する形態を楽しむ。

クラスが違うお子さま、親御さんとも協働し、その個々の想像を楽しみ合う。

想像をふくらませ身近な自然の変化の面白さを感じることに繋げる。

<実施計画(テーマ1)>

・問いを考える

季節や時間による自然界の不思議(太陽や天候、動物、植物)を感じ、触れる

ことでの変化を想像する。

・環境をデザインする

デジタルツールを有効に取り入れて、お子さまの声に沿って興味を広め、深め

てゆく。

・探究活動を実践し、記録する。

経験を重ねることで、その瞬間のひらめきを表現し、考察や展開予測を加えてゆく。

・振り返る・共有する

興味を持った事象に関しての図鑑を用いてさらに知識を深め、私たちの生活と共にある宇宙や不変の気象事象、変化する自然についての学びにつなげる。

活動を通して他者との協働の楽しさを共有する。

2. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 宇宙、自然、動物、植物の図鑑を用意して、関連付けて興味を深める。
- ・ 異年齢のクラス児同士でも安全に遊べるようにマットを敷く。
- ・ 時間の制限を設けず、好きなだけ取り組めるようにする。

3. 探究活動の実績

<活動の内容>

○〈太陽、月、星〉〈雲、雨、風〉〈朝、昼、夜〉〈虫や動物〉〈樹木、草花、果実〉のアイコンで、それぞれの位置関係や動きや変化を見て、そこに、自らの描線で変化を生む面白さを感じた。本や図鑑で関連した項目を調べ、探求心を深めていった。

<お子さまの声、反応、深まり>

朝は太陽が出て、夜は月と星が出る。雨が降ると植物が成長し、
風が吹くと樹木が揺れ、動物が草や果実を食べると大きくなる。ことを
見て、触れて、描いて、聴いて知り、言語化することで認識を明確にできた。

<活動の様子>





4. 振り返り

- ・私たちが「生きる」「生かされている」環境を構成するものを具体的に事象化したものを見て関係性を知るきっかけになった。
- ・お子さま同士、クラスを越えた異年齢児同士、親子の時間として活動を通して新たな交流ができ、また、関りを深めることができた。
- ・自らの気づきによって描くものにより、展開が変わる面白さを広げることができた。
- ・見たものに好奇心や探求心を持ち、宇宙や生き物、植物に関する図鑑を手に取り、より詳しく調べる姿が見られた。